

乗務員の皆さま

よくわかる指差呼称



昭和四日市石油(株)四日市製油所
操油課長 石元 武春

昭和四日市石油(株)四日市製油所
陸運安全協力会長 小林 伸一

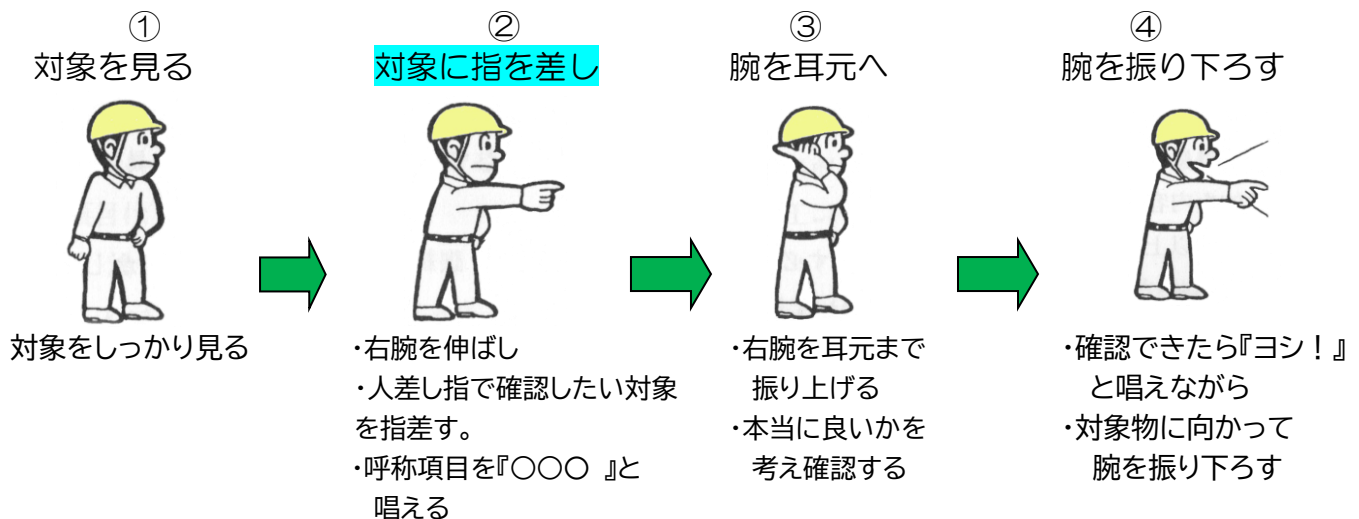
ゆびさしこしょう
荷役作業時における正しい”指差呼称”実践のお願い

平素、安全荷役ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
昭和四日市石油(株)四日市製油所では、5月12日(火)から16日(金)まで、指差呼称強調週間の安全パトロールを実施しています。

タンクローリーの荷役作業は一人作業なので、**勘違い**や**思い込み**などによる労働災害や事故をなくすことが重要です。

**指差に加えて声を出して指差呼称を行うと、間違いを大きく減らせます。
正しいやり方で指差呼称を行って安全荷役をお願いします。**

この機会に正しい指差呼称のやり方について再度確認してみましょう。



- ① 目は…確認すべき対象を、しっかり見る。左手は親指が後ろになるようにして手のひらを腰にあてる。
- ② 右腕 を伸ばし、右手人差し指で対象を差す。
はっきりした声で、「残油確認」、「底弁閉止確認」、「スウィングステージ収納」などと対象を唱える。
- ③ 腕を耳元まで振り上げて、本当に良いかを確認する。
- ④ 確認が出来たら「ヨシ!」と大きな声を出しながら、腕を振り下ろす。耳では自分の声を聞く。

① → ③ → ④ の順番で ② を省略して指差呼称を行っている乗務員の方がいます。

② の手順を省略すると、指差呼称の効果は半減します。

なぜ、② で腕を伸ばして対象を指差しないと指差呼称の効果が半減するのでしょうか？
右の QR コード から良く確認して下さい。

指差呼称の重要ポイント

